

冬も みんなで省エネ

間もなく本格的な冬がやってきます。

外の寒さは厳しくても、家の中は本州よりも暖かく快適といわれる北海道の冬。

この機会に、エネルギーを使い過ぎていないか、私たちの暮らしを見直してみませんか？

今月の特集では、冬に効果的な省エネ術や、いま注目される新エネ・省エネ機器について紹介します。

この特集に関するお問い合わせは
環境計画課 ☎ 211-2877

今夏、皆さんの節電の取り組みが大きな効果に

節電要請のあったこの夏は、市民や事業者の皆さんによる地道な節電の取り組みのおかげで、計画停電を回避することができました。

■3万人を超える市民が節電を宣言

7月～9月に実施した「夏のさっぱり節電大キャンペーン」では、目標の1万人を大幅に超える3万人以上の市民が節電を宣言。多くの方が節電に取り組みました。

■市有施設では14%減

清掃工場での作業調整や市営交通の照明の間引きなどで、市有施設では7月・8月ともに、平成22年夏と比べて約14%の節電効果を上げることができました。

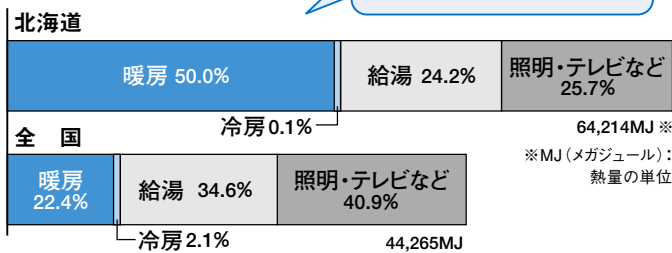
引き続き、市は皆さんと共に節電に取り組んでいきます！

冬は最もエネルギーを使う季節です

全国に比べ約1.5倍のエネルギーを消費

冬が長く寒さも厳しい北海道は、暖房を使う期間が長いので、他の地域に比べて多くのエネルギーを使っています。

■家庭で使われる1年間のエネルギーの内訳 (H19年)



全国に比べ約1.5倍！
暖房用のエネルギーが
半分を占めます

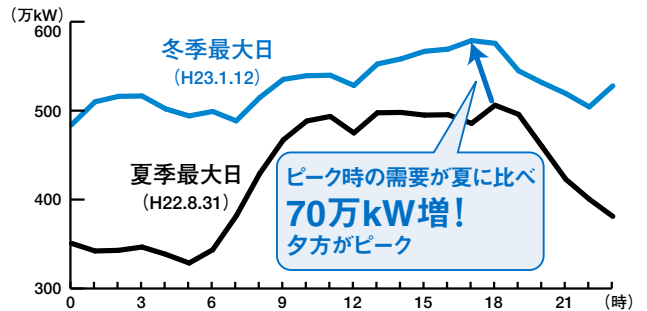
グラフは(株)住環境計画研究所「家庭用エネルギーハンドブック(2009年版)」
(財)省エネルギーセンター刊より作成

→ 冬の省エネが効果大！

冬は24時間、高い電力需要が続く

冬は、照明の使用時間が長くなることに加え、暖房やロードヒーティングなどの融雪設備の使用により、1年で最も電力需要が高まります。また、夜間の暖房などで24時間使用電力が落ちないのが特徴です。

■1日の電力需要の推移(夏・冬の比較)



→ 冬は1日中節電を意識することが必要！

太陽光発電や 省エネ機器 にも注目！

原子力発電に頼らず、環境に優しい暮らしを実現するために、太陽光発電などの新エネルギー機器や省エネルギー機器に注目が集まっています。一人一人の節電の実践に加えて、新エネ・省エネ機器の導入をさらに進める必要があります。

